

日本発ドイツ便り : Advent

今年も Advent (アドヴェント) の時期になりました。

アドヴェントとは？

クリスマスイブまでの4週間、11月30日にもっとも近い日曜日から始まります。(ということは今日から) ちょっとややこしいですが、Weihnachten (ヴァイナハテン : クリスマス) はアドヴェント期間+1月6日までを指します。



Adventの行事は色々ありますが、例えば、こんな風に4本のろうソク。Adventの第一主日(日曜日のこと)に1本目のろうソクに火を灯し、2週目には2本目、3週目には3本目と、火を灯すろうソクを増やしていく。という習慣はドイツで生まれたものだそうですよ。ろうソクの色は紫。これは教会歴の色に合わせたものだそうです。同じくドイツでは、日曜日ごとにStollen(シュトレン)というケーキを食べて祝います。日本でも最近是一般的になってきましたが、ドライフルーツ、アーモンドをたっぷり入れて作ったドイツのクリスマスケーキです。(持つとずっしり重たいです)



そしてこの時期に始まるのがWeihnachtsmarkt（ヴァイナハツマルクト：クリスマス市）。みんなが楽しみにしている時期です。冬の間平均的なドイツの日照時間はなんと3時間あるかないか。全体的に重苦しい色の空のもと、長くて寒い冬です。



これは世界遺産の街、レーゲンスブルクのクリスマス市。



これは同じく世界遺産の街、バンベルクのクリスマス市。

売っているものはクリスマスの飾り、お菓子、おもちゃなどプレゼント関係、買い食い関係とありますが、どこにいても一番人気は Glühwein (グリューワイン)。これが目当てでクリスマス市に行く大人も少なくないです。ワイン (赤) にオレンジやレモンの皮、アニスやシナモンやクローブといった香料をいれて、温めて飲むワインです。(ちょっとお砂糖も入れます) 寒い中、外で熱いワインで手と体を暖めて、友達と語らったりするんです。冬の楽しみですね。

それでは、どうぞ楽しい Advent を！

Frohe Weihnachten! (フローエ・ヴァイナハテン！)